

☆ねらい

1 section 分の長さの英文に関してその内容についての TF 文や疑問文を作ることで、何度もその英文を読み、内容をより詳しく把握する読解力が身につく、英文内容についていろいろな視点からつかむ力をつけることができる。

☆扱う場面

- ・全学年対象、教科書本文内容把握指導時のまとめ段階

☆指導の手順と留意事項

| 学習活動 | 指導の仕方・留意点等 |
|--|---|
| ① 文番号をつける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身で英文の量や1文の長さを確認させるため生徒自身にさせる。 ・教師が説明や解説する際に、どの英文のことなのか伝えやすい利点がある。 |
| ② 英文を黙読、音読する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・英文量や生徒の実態に応じて、時間を設定し、タイムプレッシャーをかけて黙読させ、内容を把握させる。 |
| ③ 英文内容の解説を聞く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、最小程度でおこなう。 |
| ④ TF Quiz ・F 文(ウソ英文)を作る。 ・T 文(ホント英文)を作る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ウソ英文を作って TF クイズにしよう」 ・F 文を作る際のヒントとして、単語を少し変えてみることを伝える。具体例も挙げる。 英文番号①last Monday ②in the morning ③near ・「ホント英文(T文)」の作り方は、同義語等に置き換えることもポイントだと知らせるとよい。 英文番号②She saw many people there around noon. |
| ⑤ Y/N Question を作る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・具体例を挙げる。 ☆Be 動詞タイプの文の場合⇒英文番号④⑤⑥ ⑥<u>Were</u> the cherry blossoms very <u>colorful</u>? (N) ☆一般動詞タイプの場合⇒英文番号①②③ ③They <u>sat</u> under the cherry trees. <u>did</u> <u>sit</u> →<u>Did</u> they <u>sit</u> under the cherry trees? (Y) |
| ⑥ Wh-Question を作る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・Wh- や How をつけて疑問文にさせる。具体例を挙げる。 答えも用意させるとさらに力が伸びる。 英文番号②④ ②<u>When</u> <u>did</u> she <u>see</u> a lot of people in Sakura Park? ⇒She saw them there around noon. (一般動詞タイプ) ④<u>What</u> <u>were</u> they <u>doing</u> there? ⇒They <u>were</u> <u>having</u> a hanami party. (Be 動詞タイプ) |